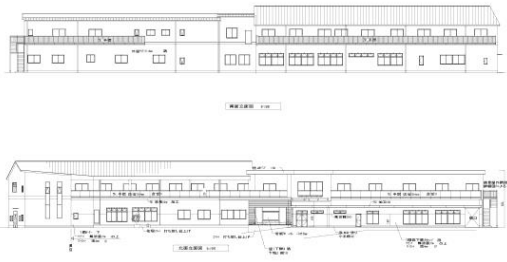
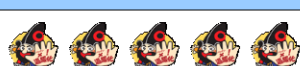


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	有料老人ホームひかりホーム	階数	地上2F	
建設地	熊本市南区域南町大字今吉野字居	構造	S造	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	25 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年11月5日	
敷地面積	1,934 m ²	作成者	(株)川崎設計事務所	
建築面積	1,142 m ²	確認日	2013年11月5日	
延床面積	2,163 m ²	確認者	(株)川崎設計事務所	

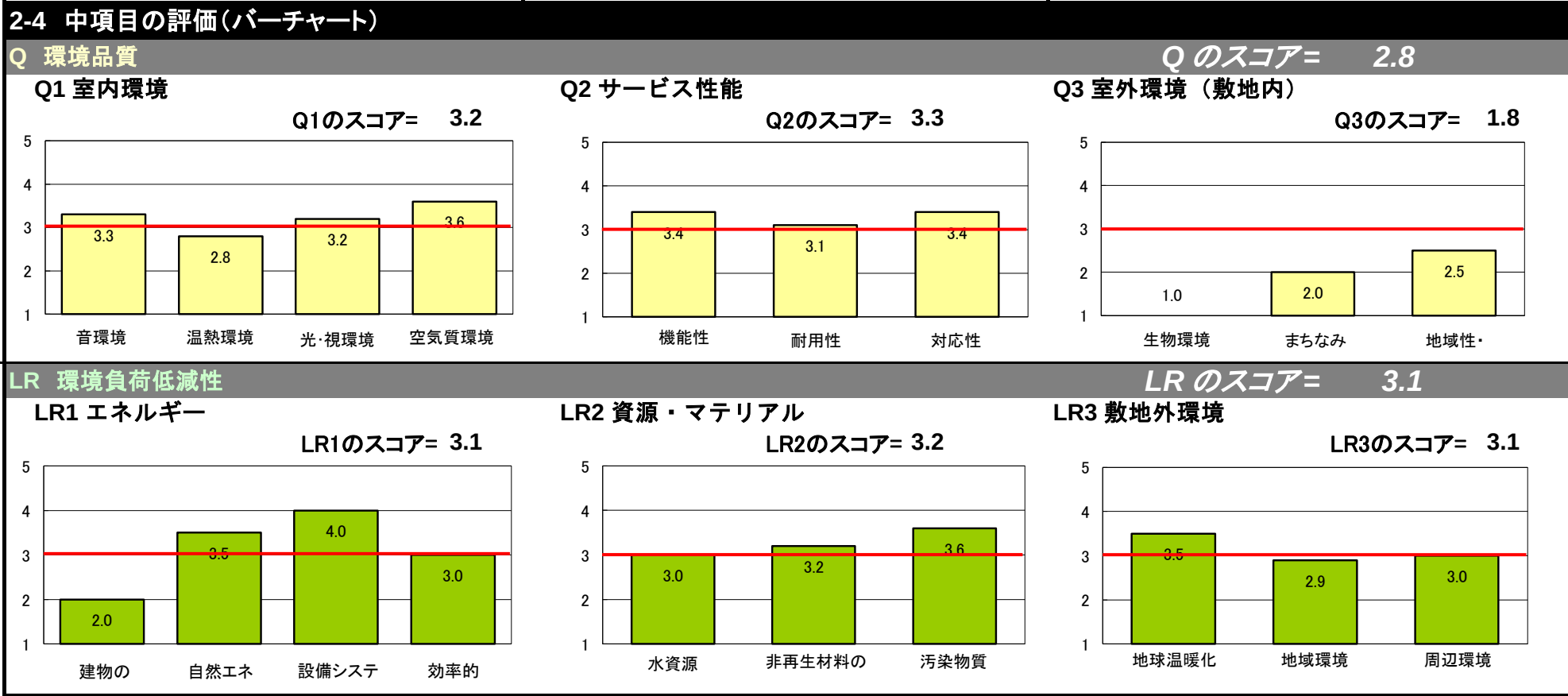
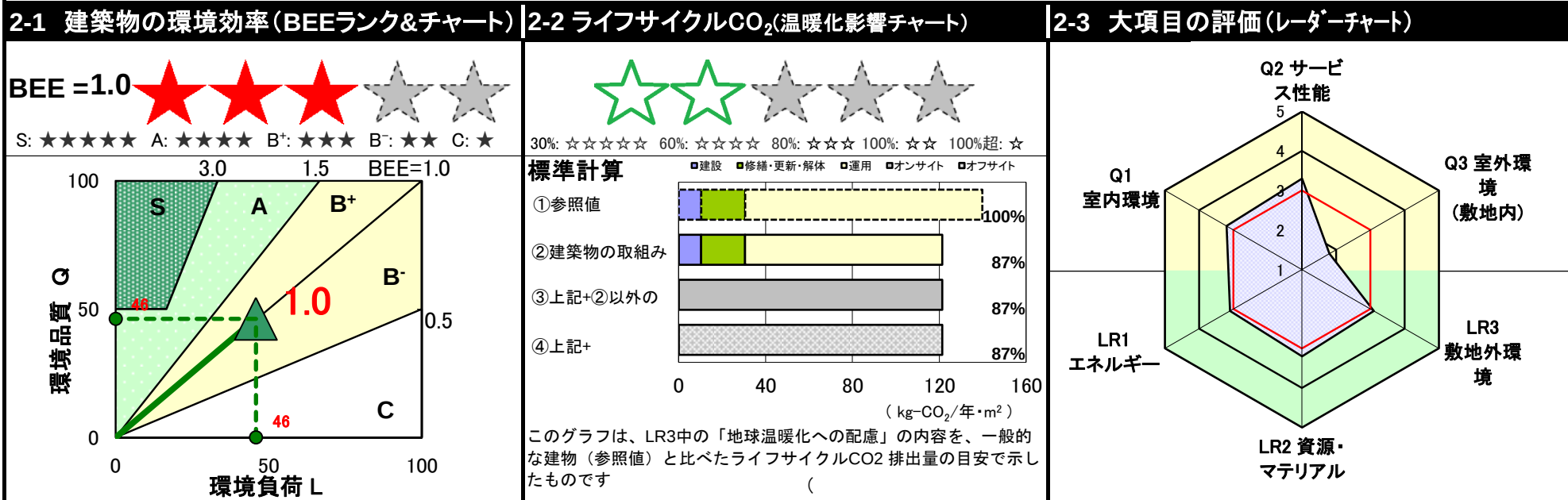
1 CASBEE評価結果																																			
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
			BEE = 1.0	■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																															
			■環境効率評価基準																																
		<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>	ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準
ランク	ランク表示	評価				判定値																													
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			排出率																																
			87%																																
			<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																			
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		

2 熊本県重点評価結果			
重点事項総合評価			評価点
			73
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	78.7	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	62.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	77.7	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	有料老人ホームひかりホーム	階数	地上2F	
建設地	熊本市南区域南町大字今吉野字居屋	構造		
用途地域	準工業地域	平均居住人員	25 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年11月5日	
敷地面積	1,934 m ²	作成者	(株)川崎設計事務所	
建築面積	1,142 m ²	確認日	2013年11月5日	
延床面積	2,163 m ²	確認者	(株)川崎設計事務所	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年版			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)		
有料老人ホームひかりホーム									
スコアシート			実施設計段階						
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境						0.40			3.2
1 音環境					3.4	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 騒音			Dr-45使用		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0			1.00	3.0	1.00		
2 設備騒音対策		-			-	-	-		
1.2 遮音					3.6	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0			0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		4.0			0.60	3.0	0.30		
					-	-	3.0	0.20	
					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			天井・壁に吸音材を使用		4.0	0.20	4.0	0.20	
2 温熱環境					2.9	0.35	2.6	1.00	2.8
2.1 室温制御			ヒートポンプ方式の空調機を使用		3.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0			0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性		-			-	-	-		
3 外皮性能		3.0			0.25	3.0	0.43		
4 ゾーン別制御性		5.0			0.38	-	-		
5 温度・湿度制御		-			-	-	-		
6 個別制御		-			-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮		-			-	-	-		
8 監視システム		-			-	-	-		
2.2 湿度制御					1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					3.1	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 屋光利用			共用部2.48%、宿泊部1.48%		3.6	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		4.0			0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		-			-	-	-		
3 屋光利用設備		3.0			0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア		-			-	-	-		
2 屋光制御		3.0			1.00	3.0	1.00		
3 映り込み対策		-			-	-	-		
3.3 照度							3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策			内装材は、F☆☆☆☆を全面的に使用		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0			1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策		-			-	-	-		
3 ダニ・カビ等		-			-	-	-		
4 レジオネラ対策		-			-	-	-		
4.2 換気					2.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0			0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		-			-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		1.0			0.50	1.0	0.33		
					-	-	-	-	
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-	
					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御			全館禁煙である		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.0	0.40	4.4	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		-			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		-			-	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0			1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		-			-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		-			-	-	-		
3 内装計画		3.0			1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理							3.0	0.30	
					3.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震			給水管(HIVP)・給湯管(HYLP)・汚水管(VP)⇒B種使用		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0			0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0			0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0			0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0			0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0			0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0			0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.23	-	-	

2.3 適切な更新	2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.5	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		共用部4.0m、専有部2.9m	5.0	0.60	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		共用部0.199、専有部0.39	4.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1	
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5	
2.1 自然エネルギーの直接利用			トップライトを採用	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率設備を導入	4.0	0.30	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			ERR=16.8%	4.0		-	-	
集合住宅の評価				3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水			3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63	-	-	3.2	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			既存躯体の鉄骨を再使用している	5.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上げ材が容易に分別可能である	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-		
1 消火剤			-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)			GWを使用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2:87%である	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9	
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-		
2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1 騒音			3.0	1.00	-	-		
2 振動			-	-	-	-		
3 悪臭			-	-	-	-		
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-		
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-		

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

Q1 室内環境

界壁は、遮音性能Dr-45を使用している。
天井・壁に吸音材を使用している。
昼光率は、共用部2.48%、宿泊部1.48%で、開放感のある空間形成に努めている。
内装材は、F☆☆☆☆を全面的に使用している。
全館禁煙である。

Q2 サービス性能

給水管(HIVP)・給湯管(HYLP)・污水管(VP)で、耐用年数の長いB種を使用している。
階高は共用部4.0m・専有部2.9mで、壁長さ比率は共用部0.199・専有部0.39であり、ゆとりのある空間形成をしている。

Q3 室外環境（敷地内）

LR1 エネルギー

トップライトを採用している。
高効率設備の採用をし、環境配慮に努めている。

LR2 資源・マテリアル

解体時に、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。
断熱材は、グラスウールを使用し、発泡剤を用いた断熱材は不使用である。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2：87%である。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 有料老人ホームひかりホーム

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		72.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				78.7	0.40	31.48
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	2.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.5	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				62.5	0.20	12.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				77.7	0.20	15.54
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.3	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	5.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数